

令和2年9月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

令和2年9月のDI値は、全9指標中2指標が改善するにとどまっており、新型コロナウイルスの発生以降、大きく悪化した状況が続いている。

国・地域による消費喚起策等の実施によって、食料品等一部業種では、売上が増加した業種もあるが、多くの業種では、依然として需要の低迷、受注の減少、売上の低迷が続き、収益が悪化している。

新型コロナウイルスの影響が長引く中で、雇用調整や事業廃止に至った事業所があるとの報告もあり、事業の先行きを不安視している声が多い。

山口県の主要指標 DI 値 (令和2年9月末現在)

※DI値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況 (< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)

前年同月比は、好転： 0.0% 悪化： 62.5% DI 値： ▲62.5% ポイント

売上高 (< 増加 > - < 減少 > = < DI 値 >)

前年同月比は、増加： 6.3% 減少： 63.8% DI 値： ▲57.5% ポイント










収益状況 (< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)

前年同月比は、好転： 2.5% 悪化： 63.8% DI 値： ▲61.3% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況) (令和2年9月末現在)

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲66.7	▲33.3	▲66.7	▲100.0	▲33.3	▲62.5	▲50.0	▲57.6
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス業	建設業	運輸業	その他	全 非 製造業	全 体
▲60.0	▲100.0	▲100.0	▲72.7	▲27.3	▲57.1	▲100.0	▲66.0	▲62.5
								

特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	GoTo トラベル、GoTo イートなど国の対新型コロナウイルス施策であるが菓子業界への支援には感じられない。敬老行事の中止や縮小により前年比減少となった店舗がある。新型コロナウイルス感染者のあった地域において、8月末から9月中旬まで特に来客減少。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	台風の影響により取引先が休みになり、売上減少。	パン・菓子製造業 下関市
	8月の店舗売上は、対前年同月比▲4.4%と前月▲6.5%に比較し更に回復。9月は9/23時点で+14.5%と大幅に増加。特にシルバーウィーク4連休は来館者が急増し、売上が+35%アップと盛況であった。この調子が続くことを願うばかりだが、今後は秋冬の感染再拡大が心配である。	水産食料品製造業 萩市
	販売先の売上減少が続いている。漁獲量の減少。仕入れ原魚は以前の相場より高値が続いている。納入価格が安く厳しい。	水産食料品製造業 長門市
	新型コロナウイルスの影響が少しずつ緩和されてきたようである。技能評価試験(初級・専門級)も受けられる状態になってきた。ただし出入国は未だに厳しい状態の模様で、早く体制が整ってほしい。	水産食料品製造業 下関市
	新型コロナウイルスによる影響の改善は未だ先が不透明である。9月は4月、5月程の売上減少は無く、若干例年に近づいているが、65%~70%である。お中元商戦が一段落し9月は落ち着いている。国民の意識が自粛に慣れてきた現状では、本業界の売上の伸びは期待できない。GoTo トラベル・GoTo イートと経済改善の政策に転換した今からの、消費マインドの変化に期待している。年末商戦が一つの物差しになるのではと考えている。	
	山口県内も新型コロナウイルスの第2波で、自粛ムードが広がり、経済活動の厳しい状況が続いている。今後は、ソーシャルディスタンスに基づく経営活動を遂行してくための中小企業向けの支援対策を早急に充実させることが必要となる。そのためには、これ以上、コロナウイルスが蔓延して、感染爆発をおこさないように、検査体制の拡充、クラスターの早急な把握と感染者の迅速な隔離が必要だと考える。また、今後のコロナ対策に関しては、国民の自主的なソーシャルディスタンス活動による集団免疫対策を講じることで、経済活動との両立を図ることが必要となる。また、今年	精穀・製粉業

	度は、中国などの大陸から稲の害虫、ウンカが多数飛来し、山口県の作況指数は、9月15日時点で、「83」と全国最低となった。コロナだけでなく、大陸から飛来する害虫対策も必要となる。	
繊維工業	新型コロナウイルスの影響で、展示会の開催が困難となっている。来春商品の受注見通しが不透明である。	外衣・シャツ製造業 山口市
	売上が大きく減少とまではいっていないが、新型コロナウイルスの影響がまだまだ続いており、追加生産の予定が少ない。	外衣・シャツ製造業 山陽小野田市
木材・木製品	業者によっては業績の上昇しているところもあると思うが、全体的にはなかなか難しい状況。	製材業・木製品製造業 岩国市
	今年は梅雨が長かったため、乾燥した木材の量が少なくなっている。	製材業・木製品製造業 山口市
	売上額の対前年同月比は、前月同様に組合員平均約30%程度の減少となっている。回復の見通しなし。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	印刷業界の受注状況は、春先の状況からみれば次第に改善、増加傾向にあるものの、前年比で見れば、本年度売上が大幅な減少となることは明白であり、それに伴う収益環境の悪化は避けることができない状況である。国、県等からの中小企業への支援も実施されているが、その内容はまだ不十分であり、例えば、対象先は個人、法人の括りではなく、業種、売上規模を基準として金額規模に段階をつくるなど、より細密な支援スキームの構築を期待したい。	印刷 下関市
	イベントの集客も緩和されつつあるが、今のところ景気回復の兆しは見えない。	印刷 山口市
窯業・土石製品	出荷量は、 (令和元年9月) 骨材 90%、路盤材 93%、再生材 88% ↓ (令和2年9月) 骨材 74%、路盤材 64%、再生材 149%	砕石製造業
	出荷量は、前月比97%、前年同月比87%。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。生コン販売価格は安定している。	生コンクリート製造業 山口市
	昨年度は特需工事が複数あったため今年度は減少となっている。	生コンクリート製造業 周南市
	移動制限が緩和され、人の移動が増えてきた。長期間墓参りに帰れないと掃除ができないため、廻りのコンクリート張りの依頼が増えている。	石工品製造業

	<p>GoTo トラベルキャンペーンの影響で、萩市内観光客は、個人・家族での旅行客を中心に大幅に増加し、昨年並みに回復している。特に4連休は多くの観光客で賑わった。宿泊客に配布される「萩にゃん。お得にゃ観光クーポン」(1人2,000円分)の恩恵もあり、市内小売の売上は昨年同月比で約30%アップした。県内及び近県の小中学校からの修学旅行は増加しているものの、一般の団体客については未だに皆無で、依然厳しい状況が続いている。百貨店や大都市小売店、ギフト関連の受注も回復せず、関連の売上は前年比で50%と低迷が続いている。小売・卸を合わせた売上は、未だ大きく下回っている。9月に行われた西日本陶磁器フェスタでは、萩焼協同組合から3社、他萩焼業者3社が出展し、全体の出展者は昨年の2/3程度。来場者は昨年と比べ大幅減だったが、売上は昨年並みだった。</p>	<p>陶磁器・同関連 製品製造業</p>
<p>一般機器</p>	<p>毎年9月は、周南コンビナートが秋の定期点検の時期になるため繁忙期となるが、今年は特に大型の工事が重なり、組合員の大半で、昨年に比べて売上が増加している。しかし、売上は増加してはいるが、収益も同様という訳にはいかないところも多い模様で、10月も定期点検が続くので、収益の好転については10月次第である。</p>	<p>一般機械器具製造業 下松市</p>
	<p>新型コロナウイルスの影響で受注が減少、一部企業では雇用調整も発生している。</p>	<p>一般機械器具製造業 周南市</p>
	<p>県内でも新型コロナウイルスの感染者が増加している。建設関連は、これまでの水準を維持しているが、自動車関連の仕事量や売上が25~30%の落ち込んだままで、先行きが不透明である。組合員間の景況には先月同様に温度差がある。</p>	<p>一般機械器具製造業 防府市</p>
	<p>新型コロナウイルスの蔓延による若干の影響はあるが、一部製造業を除き、事業量の確保が出来ている。コロナ後を見据え実習生の増員を予定している企業もある。介護、スーパーについては人手不足感が顕著である。技能実習生の入国が出来ない状況が続いているが、帰国もできないので一定の人員の確保は出来ている。但し、帰国が始まった場合、入国、配属とのタイムラグが発生することが想定され、一時的に人員不足になることが懸念される。雇用調整助成金を利用している企業で、来年度以降給付額の減額があると、満期実習生の解雇が想定されるため、組合員企業には継続した雇用を依頼している。</p>	<p>一般機械器具製造業 宇部市</p>
	<p>大きな変化は見られない。</p>	

	実習生が入国できない。次回の受入れができず困っている。引き続きリモート面接をしている。	一般機械器具製造業 岩国市
輸送機器	製品（加工）単価の低価、上昇難。半導体は良好。産業プラント部門が下松からの撤退発表を機に調整作業になっている。新型コロナウイルス流行による取引各社の操業度の落ち込みがあり、受注が落ち込んでいる。	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	倉庫の売上は前年同月と同程度であり、新型コロナウイルスの影響はないと考える。	乾物卸売業
	新型コロナウイルスの影響で外出する人が少なく、小売部門（特に文具）への客足が少なく売上が減少。	各種商品卸売業
小売業	徐々にお客も戻って来ているが客単価が低くなっており、特にリップ等色物の売上が下がった。組合と資生堂の共同事業も組合員が頑張り、前年比 90%で推移している。各メーカーで新商品が出ているので予約活動が大切である。	化粧品小売業
	秋の農繁期を迎え、収穫用機械や関連商品の需要を見込んでいたが、病害虫の大量発生により、作柄の状態が悪く、機械の買い控えを招いている。また、顧客農家が「経営継続補助金」を申請する際、申請窓口である農協職員から、補助対象の機械は農協から購入するなどして、農機店から購入されないことも見受けられる。	農業用機械器具小売業
	例年なら9月下旬にミニ合同展示会を開催するが、本年は中止。その分エアコン、冷蔵庫の販売でカバーができた。	機械器具小売業
	9月に入って順次、各所の規制が緩和されたが、市況は即座に反応できず依然として低調に推移。一部では春からの業績不振に耐えられず廃業の選択を図る店も見られる。巷のコロナ感覚は少しずつ慣れてきた感じだが、感染者数が少ない地方都市では、新たな陽性反応者が発表になるたびに萎縮。少し開放的になって動き始めた市況が、急速に冷え込む、その繰り返し。田舎ほどこの傾向が著しい。とりわけ岩国市では10月に縮小開催が予定されていた「岩国祭」が一転、全面中止と発表されて、もう一段と市況が固まった。他地域との比較もあって楽しみに思っていた市民の評価は厳しい。10月には対コロナ施策として市主催のプレミアム商品券の発行を控えている。	各種商品小売業 岩国市
	商店街への来街者は5月ほどではないが減少傾向が続いている。組合員への共通駐車サービス券の販売が減少している。売上高減少、前年比約 70%。	各種商品小売業 周南市

	9月初めから中旬までの台風の影響により、商店街の売上が落ちていたが、中旬以降は少し盛り上がってきたような気がする。	各種商品小売業 下関市
商店街	客足は相変わらず鈍く、閉店する飲食店も出ている。国や県の支えで組合としては何とかやりくりはつきそうだが、個店の動向がやや気がかりである。	宇部市
	新型コロナウイルス感染者の減少により、多少の人出があり、観光客も増えた。衣料品店関係は季節の変わり目でもあり、悪化時から20%増で来店者がある。飲食、宝飾関係は悪い状況が続く模様である。	萩市
サービス業	美容業にとっての9月から11月は閑散期で、今年も同じような傾向である。宇部・小野田地区以外では、新型コロナウイルスの影響はあまりなく、山陽小野田市の日の出地区にある美容室も落ち着いてきて、今月は前年同月比10%減程度にとどまっている模様。	美容業
	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向け最大限の取り組みを進めているところだが、感染リスクへの不安による消費の低迷により、収益の悪化等で先行き不安。	理容業
	毎年9月、10月は全国で定期点検整備促進運動の強化月間として、自動車ユーザーに対するイベント等を実施し、自動車の使用時に安全・安心を担保するための定期的な点検・整備の必要性をアピールしているが、本年は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響からイベント等は全て中止となるなど、対応に苦慮する結果となっている。	自動車整備業
	コロナウイルスで被害甚大。	スポーツ・健康教授業
	9月売上は8月に続き大きく減少した。クリーニング業の9月は閑散期で、加えて新型コロナウイルスの感染拡大に伴う経済活動の縮小により、売上げが前年同月と比べて大きく落ち込み、資金繰りに影響が出てきた。9月下旬から11月上旬にかけて秋の衣替えにより売上が上がる時期だが、新型コロナウイルスの影響により例年ほどの売上は期待できない。	普通洗濯業
	山口市の新型コロナウイルス感染症に係る飲食店応援チケット「エール！山口」の効果で少しお客が戻って来ている感じではあるが、油断ができない状況。	飲食業
	JR取扱組合員1社が9月末で事業廃止。売上は前年の15%程度である。	旅行業
	宿泊人員は、対前年同月比93.9%、売上97%。各種プレミアム宿泊券及びGoToキャンペーンの効果で回復基調である。	旅館業 山口市

	組合員の売上は30～50%減少したままである。 GoTo トラベルや山口プレミアム宿泊券のおかげで高単価の個人客は増えている。単価の安い観光ツアーや市内の宴会等はまだまだ伸びない。	旅館業下関市
	飲食店部門の閉店の影響もあり、浴場収入は前年比26%の減、売店部門を含む総売上は33%減となったが、人件費を含む一般管理費は35%の減額となった。コロナの影響は継続しており、一部浴場営業を週休2日とする関係で、入浴者数が24%減となった。	旅館業 長門市
建設業	中電への工事申請件132件(当支部94件)、前年同月144件(同119件)。太陽光発電への申請31件(前年20件)、オール電化申請53件(前年79件)。LED街路灯への切り替え・新設申請28件(前年27件)であった。	電気工事業
	工事量が減少している。工事量を確保している事業所においても、来春よりの減少を懸念している。一方、施工能力のある事業所に対しては、暫く縁のなかった総合工事業者から再取引の打診が入り始めている。	左官業
	暑さ対策とコロナ対策をし、人手が不足したままであるので、組合員間で協力をしながら、年度当初受注工事で忙しく仕事をしている。新型コロナウイルスの影響か、民間の建築に関わる水道工事が8月よりも減少している。	管工事業
	県発注の工事は、景気対策の観点から例年よりやや前倒しで発注されているように聞いている。	土木工事業 柳井市
	9月の受注高は、対前年同月 19.2%。今年度の累計は、対前年比 79.7%。	土木工事業 萩市
	土木工事については、前年並みで推移。	土木工事業 長門市
	新型コロナウイルスの影響で売上が減少。	内装工事業
	新築着工戸数の減少が次第に顕著になってきた。新築における瓦屋根の採用物件の割合も、金属屋根材に押され減少傾向にあり、先行きに余り期待が出来ない状況である。建築基準法の告示基準が改正されることを、プラスの方向に向けるべく、瓦業界として努力していきたい。今後の需要喚起に向けて足並みを揃えて行かねばならない。	屋根工事業
	年内の仕事は確保しているものの見積件数が少ないため、来年以降の仕事に不安を感じている組合員が多い。	鉄骨・鉄筋工事業

運輸業	<p>新型コロナウイルスの影響により輸送量は前年同月比約25%強のマイナス。輸送量はこのところマイナスが続いており、悪化したままである。兎にも角にも輸送量の増加を切望している中小輸送業者の現今の姿である。燃料費前月と同じで値の変化はなし。中小輸送業者は取引税の減税を切望して止まない。</p>	一般貨物自動車運送業 下松市
	<p>組合自体の売上は9%程度の増加。しかしながら、輸送取扱高（組合取扱い）については30%程度の減少。多少の回復の兆しもあるが、荷主によっては60%減程度の落ち込みで推移している。</p>	一般貨物自動車運送業 防府市
	<p>新型コロナウイルスの影響による物流の減少について、大都市圏を中心に徐々に増加に転じているような雰囲気がある。取引のある製造業なども少し生産が伸びている模様。しかしながら、山口県等地方ではまだまだといった感じがあるのも事実である。ライフラインや食料品等の生活必需品の動きが手堅いのが物流業としてはありがたい。</p>	一般貨物自動車運送業 宇部市
	<p>タクシーチケットの取扱い金額（税込み）は、前年比▲46.2%（令和2年8月1日～令和2年9月20日分）。8月1日～31日分は▲50.9%、9月1日～20日分は▲38.4%。当組合の取扱いタクシー事業者は、光市、下松市、周南市、防府市の地域。8月分については、周南▲51.0%、下松▲56.7%、光▲54.9%、防府市地区が▲52.9%で、組合員の全域では▲52.3%、地区外（員外）▲29.85%（7月分が8月に到着受託）、合計▲50.9%▲9,994千円）。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動する。CPが上がり（前月342.5\$/トンが今月350.0\$/トン、前年360.0\$/トン）、輸送用バンカーC重油が下がり（前月382.0\$/トンが今月380.0\$/トン、前年381.0\$/トン）。為替は円高（前月107.84円/\$が107.05円/\$）。燃料単価は前月と同額となった。前年9月分も同額だった。タクシー乗務員は労働条件が厳しい（賃金が少ない）事もあって慢性的に不足しているが、新型コロナウイルスの影響で需要が激減。乗務員募集は中断する所もあるようだが、将来の景気回復を見据えて、休業補償等で、人員確保に苦心しているような状況。現金利用の多い個人利用客はもっと回復しているようだが、法人利用の多い当組合のチケットでは、出張移動や会合などを自粛されており、まだ前年比：▲46%。特に夜間の飲食関係はまだまだ時間がかかりそうに思われる。連休の移動により、大都市での感染が地方に広がって来るようで、感染発生による企業活動の中断自粛が大いに危惧される。</p>	一般旅客自動車運送業

	今月の取扱高は、対前年比で若干増加しているものの、不変の範囲である。	港湾運送業
その他	航空便も回復の兆しがあり、今後の動きに期待したい。	介護事業